

## 令和4年度第1回多摩市一般介護予防事業評価委員会 《要点録》

日 時：令和4年7月19日（火） 14時00分～15時48分

出席者：6名（傍聴はコロナ感染症拡大防止のため中止）

### 1 開会について

委員の変更があり、紹介を行う。

### 2 報告

（資料2・3・4・5・6・7-1・7-2に沿って事務局より説明）

#### 【意見・質問】

- 委員：TFPPについて、経年通われている方のデータが十分にあるのならば、体力が低下してきた方がどのあたりに住んでいるか分析し対応策を検討できる。
- 委員：歯科健診事業実施報告では、「むせ」の割合が上がっていることについて検討したい。
- 委員：「咀嚼、舌、嚥下」については対策を検討するため、地域差の分析をする方がよい。
- 委員：多摩市の心の健康について、「やや不満」が多いことに対し、何か対応できないか。社会経済への不満や金銭面も併せて不安の分析を行ってはどうか。社会的役割が薄れていくことに対して不満を感じる層もいるのだろうか。
- 事務局：認知機能低下の方に寄り添う通いの場については、地域課題会議でアンケート結果を共有し、10月より対象を拡大していく予定。対象団体や支援内容は再考する予定。
- ⇒委員：受け入れやすい団体から始めると良い。認知機能に良い体操ではなく、みんなで楽しみ「認知機能が低下しても地域の中でも生きていけるんだ」という内容にしていくとよい。

### 3 協議

「コロナ禍における健康二次被害への対応策について」（資料8・8-1に沿って事務局より説明）

#### 【意見・質問】

- 委員：通所型短期集中予防サービスは公共交通機関の交通網が課題である。公共交通機関以外の手段で解決できないか。
- 委員：ニーズの把握は行っているのか。
- ⇒事務局：訪問同行支援の中で、通所型短期集中予防サービスの利用を検討した方がいたが、自己通所が難しく送迎ありのサービスを選択することがある。そこで、出張型など実施場所の工夫をしてはどうかと検討している。
- 委員長：交通弱者を出張型で体力の底上げを行い、元気塾通所につなげるということである。
- 委員：出張型の短期集中予防サービスは賛成である。元気塾とセットの利用が前提ではなく、その人の生活の目標を設定しそれに応じて利用できるようにすること、また出張型でもマシンと同等程度の改善効果があることが望ましい。
- 委員：以前の委員会でフレイル予防は対面と非対面のハイブリッド型で実施することが良いという話があった。ヘルスウォッチ等は健康効果が上がることが実証されている。再度非対面の介護予防についても検討してほしい。

### 4 その他

次回の開催は令和5年3月を予定。

7月24日パルテノン多摩のオープンイベントで「お口の健康講座」を開催予定。

以 上